



図書館引きこもり歴5年!
本好き青年

伊藤隼介(19)
大学生 / 朝陽区在住



どの世代にも受け入れられる名作

数 ある恋愛小説の中で、この本は唯一私の恋愛観を変えてくれました。男の身勝手と対して主人公ミツ子の潔白なまでの素直な性格に感服心を打たれました。恋愛小説マニアの方はもちろん、あまり恋愛小説を読まない方にもお勧めの一作です!

【わたしに愛された女】
遠藤尚作 著
講談社



言葉音楽恋愛
愛好コピー
ライター

永坂文(43)
フリーランスコピーライター
名古屋在住

まるで恋愛のアナリーゼ

いくつになっても恋愛の基本は変わらない。日くとも苦くとも底に真摯な旋律が流れていれば芳香を放つのだと思ひ出させてくれる、みずみずしい物語たち。元少女な私も読み返す度「素敵なお話」をたくさんあります。



「放課後の音符(キイノート)」
山田諒美 著
新潮社



日々読書に明け暮れる、
読書会代表

陣任チカ(42)
元(旧)雑誌編集(おみよ)主婦
奈良県橿原市在住

透明で優しい恋愛に、泣けてきます

大 崎さんの小説はどれも優しい。なのに、せつなさで溢れている気が付けば泣いている。かつての大恋愛を思い出したり、別れに心を震えたり「やっぱり愛愛つていよね」と読み返すたびに思い、また恋愛をしたくなる。そんな小説。

【パイロットフィッシュ】
大崎晋生 著 / 角川書店



図書館と本屋を
愛する大人女子!

C.T.
研究 / 東京都在住

お互いを敬愛する大切さに惹かれる

幾 つかの恋愛で、敬愛者と家政婦とその息子の交流を軸に浮かび上がる。話の中心は敬愛者と親子の交流だ。中心は敬愛者と親子の交流だ。恋愛が舞臺。ほっそりとした描かれな分、誰かへの愛情を持ちながらからの暮らし、お互いへの敬愛が感じられる。

【博士の愛した数式】
小川洋子 著 / 新潮社



本と笑顔を届ける!
移動図書館司書

真奈美(33)
図書館司書 / 京都府亀岡市在住

「もう、いい年だからならんて考えない!」

いくつになっても人との出会いを大切にしたい。泣いて笑って前へ進んでいこう! 恋愛は計算しやなく感性でするもの。そう思わせてくれた小説です。年輪まに戸惑いながら、年下の彼と恋に落ちてゆくストーリー。

【年下の男の子】
五十嵐敏久 著 / 実業之日本社



言葉を楽しむ
村上香樹ゼミ大学生

アヘウシカ(21)
大学生 / 品川区在住

沈黙があたためる不完全な愛

彼女の部屋の水仙にも、彼女の作るだし巻き卵にも、そこにはいつも笑があった。生きて誰かを感じることにそこには消えぬ愛を愛すること。ならば死は願わくさくさ思えるけれど、それでもやっぱり生の温度が愛おしい。

【ノルウェイの森】
村上春樹 著 / 講談社

恋愛読書508冊 現代小説編 30作品!



「所蔵数1,000冊!」
本好き文学部少年
マナト(22)
大学生 / 多摩市在住

恋愛の価値交換を議論わ

男 の子と女の子の間に一筋詰まりを感じた時に、この作品の一端を思い出す。「私も幸福がフランスで不幸がマイナスタたとしても、あなたが絶対の大きな方を選んでいく私が喜ぶことよ、僕も僕も価値交換をはかる。

【エビクロスの贈り物】
遊瀬龍彦 著 / 福屋書店



「図書館に住みたいと語る、美女女子大生」
梅澤亜季(22)
大学生 / 杉並区在住

夢中で読めちゃう、恋愛小説入門書

主人公二人が恋愛感情かどうかとも関係なく、とにかく相手を大切に思う、自分以外の誰かを理解するの、心の全て相手にぶつけど、うて、読んでいて清々しいんです。

【美しい目の魚】
佐藤多佳子 著 / 新潮社



「おやつとお笑いに
ご執心」の哲学青年

中辻(シ)(27)
元(旧)フリーランスエディタ
目黒区在住

恋とは

恋 とはShing02曰く「嘘と嘘」、松本隆日小説は「Kissから始まるストーリー」。この小説は、衝動の連続で、恋とは何ぞや、という哲学的問いを投げかけてきた。この日に来、風たいた、恋しい、恋しい心に決めた。

【恋空】
美穂 著 / スターツ出版



「09年朝日広告賞入選の
哲学青年」
智(ト)(30)
元(旧)フリーランスエディタ
文京区在住

憧れの恋

ヤンチャなタレントと婚長が結婚するお話です。CAと婚長というハイツの設定ゆえ、彼らが惚んでも非論(でも読む側が暗い気分にならな)りません。この本を読んで設定だと思えるようになりました。

【恋のスタンバイ】
ジェンカステイラー 著 / 小谷正子訳
ハーレークイン



本しか友達が
いなかった都会っ子

うずらあんり(26)
ポップ歌手 / 杉並区在住

ドブネズミのように美しい恋の物語

あのまの愛を受け入れてくれる彼女と、しかし人生の重さに押しつぶされそうな僕の苦悩を描く、神様の振るサイコロを翻弄され、溺れてしまつた僕たち。人生も愛も惨い。でも愛いかに美しいんだ。「暗黒の文化系内向型」青春の渦中にいた僕を救った一冊。

【リンダリンダラバーノール】
大朝ケンチ 著
新潮社





「それから」 夏目漱石 著 新潮社

告白のタイミンズを逃したふたり

片思いを続けるチカユも、きつと恋のヌキルのひとつ。成就しそこなった恋愛感情を抱えたまま、青年と人妻がその感情をともに持続させている恋のソコチカユ。百年前の卓食米男子、一世一代の告白の結末は……

古書にまみれて 幾星羅の田舎教師



加藤純行 (43) 山形県立大学副学長 山形県山形市在住

何もしなかったらソートラ

旅先で魅力的な異性と出会うかもしれない、洋の東西を問わず、ありふれた物語。何も起きないことが一番ソートラなのかもしれない。身分違いのふたり。二十歳の第一高等学校学生と、十四歳の隣子がすれ違う伊豆の休暇。



「伊豆の踊子」 川崎龍成 著 新潮社

感じる恋を

「見える」ことに捉われすぎて、ほかの大事なものを見過してしまふことがある。恋愛においては、特に。この本は、見えづらい中で視覚以外の感覚を呼び起こしてくれる。感度を高めたいときに読む一冊。

恋の相談にもなる 読書アドバイザー



オカマリナ (29) 東京都目黒区在住

恋愛の醍醐味は別れにまで至る

恋が終わってしまつたときの、なんとも言えない気持ち。辛いとか悲しいよりも、むしろ清々しいような気持ち。自分の中でもちよもやしていったそれらの気持ちに「嬉しい」という言葉を与えてくれた本。



「別れも嬉しい」 宇野千代 著 集英社

ぼくの子猫ちゃん



「痴人の愛」 谷崎潤一郎 著 新潮社

いつの時代でも男は女に翻弄されるものである。やっかいな妻があたは思っても安心できない気持ちでどこかある。本当に愛されているのか、騙されているのか、騙されてるか？ 女性のことを子猫ちゃんと呼びかけた人とは何と素直らしいのだろう。

夢をかなぐり捨てた VV名物次郎



長谷川剛 (29) 株式会社ソートラ 東京都文京区在住

「恋文」 内田百閒 著 中央公論新社

葉から手紙。手紙から電話。電話からメールと、時代とともに恋心を伝える手段は移り変わっていった。どんなに時代が変わっても直接伝える恋が一番なのだが、手紙は言葉と同等、さらにその上の熱量を叫ぶのことで、封印することができるのである。

16分41秒で巡る planetarium

子猫の金平艦のような、タルホのメロソリエ愛のフラグメンツ、セシガーの煙、バクンと消える雪星、アセチレン燈の叫び、月光牧場器と描くも、今夜ソートを愛して目を離れない自分は、都会の夜の空に浮かぶ記憶のソルエルをなぞるのみ。



「千一夜物語」 穂積道雄 著 新潮社



坂本夏樹 (69) 大塚学院大学非常勤講師 大阪府堺市在住

美術と 講義する大学講師

明治の視覚装置 2D恋愛譚

雲間から遠眼鏡で見て恋した。銀き絡繰の押絵と金の迷選行。レンヌ狂乱歩の金言「現世は夢、夜の夢こそ真」 狂想曲「鳥を捕まえて男」 世界を征服する男



「押絵と恋する男」 江戸川乱歩 著 光文社

相手思うという、自己愛を学ぶ

春 雲は佐助に同じ闇への誘いを求め、彼はそれに応じ眼珠を失う。ここにあるのはサチイヌム・ソビズムを超えた究極の自己満足である。己への愛と相手への愛が交錯し、我々が求める愛情を根拠から奪うのである。



「毒妻抄」 谷崎潤一郎 著 新潮社

江戸文化と 東京女子 日本語を愛す



福嶋清美 (34) 東京都文京区在住 大塚区在住 http://tokyogirl.com/

東京女子に学ぶ 言葉と情の交し方

ここに描かれているのはただその場にある空気を愛する、情である。その場の空気を愛しむ情は、相手を慮らねばできない。一聞すると浮き足立っているような情愛は、そして瞬間瞬間を愛おしむ優しさに満ちているのだ。



「毒妻抄」 谷崎潤一郎 著 新潮社

綺麗な恋ばかりが恋ではない

「恋」は紙一重だ。純粋な恋心はやがて愛麗的な心理へと豹変する。読めば読むほど人間の心の奥に潜む奥奥的な感情を垣間見れてしまいそうである。こんなにも恐ろしいものか、大正時代に書かれていたとは!



「痴人の愛」 谷崎潤一郎 著 新潮社

文学青年と音楽を愛する サツキ



いちは (34) 教育関係 千葉県大塚市在住

書かずにはいられない 片恋の記憶

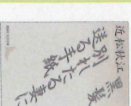
恋の始まりの記憶というものは繊細で時に顕著だ。高鳴る鼓動まで聞かせるほど一葉の星は激しく開く。彼女が密かに反響したのである。特別な記憶。その記憶を追うに、つれづれに恋している自分に気づき、ハッとする。



「毒妻抄」 谷崎潤一郎 著 新潮社

ダメすぎると却って愛おしくなる

脱 自己愛を棄たしたと言ったものの、痴態で自分の欲望に正直な雪岡をダメ人間と観測する一方でどこか羨ましく思ってしまう。「去るものは追うタイアグに惹かれるのだから結局脱自己愛などできていないことに気付く。



「黒髪 別れたる妻に送る手紙」 近松秋江 著 新潮社

43歳人生を変えた 読書会での新婚さん



佐竹琴枝 (43) 会社員 東京都府中市在住

どんなカタチでも愛を買くこと

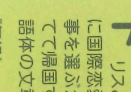
かつて私は恋愛において「来る者は拒まず、去る者は追わぬ」を信条としていた。いわば自己愛だが、いびつな形の愛を買く佐助の姿に、惚れた女に嫉い感じける幸せを感じた。私も脱自己愛を棄たし、ようやく幸せになれた。



「毒妻抄」 谷崎潤一郎 著 新潮社

明治のエリート青年ゆえの悲哀

ドイツに留学中の豊太郎は踊り子のエリスと恋に落ちる。しかしエリスゆえに国際恋愛は認められない。愛を買くか仕事を選ぶか悩んだ末、狂態したエリスを抱いて帰国する。今も昔も男の身勝手さ、文語体の文章が見事な小説。



「舞姫」 舞姫 著 新潮社

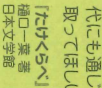
メルマガ配信11年 読書4冊 樋口一葉に魅せられた主婦



杉山優子 (62) 主婦 鹿児島県鹿児島市在住

大人になれたくない子供たちの恋

近代以前に生きていた少女たちの将来は生まれながらに定まっていた。彼らの日常と初恋を通して子供から大人になるとはどういうことか、境遇とは何か、現代にも通じるテーマを現代の若者にも感じ取ってほしい。



「たけくらべ」(にこりえ)たけくらべ (他、収録) 樋口一葉 著 日本女子大学 日本女子文庫

阿茶姫部族 舞姫外



舞姫外 舞姫部族 著

読書会「猫町倶楽部」3人が選ぶ! 夏目漱石の恋愛作品 BEST5



山本健輔 (28)
会社員
相模原市在住 / フアン歴:6か月



四戸友晴 (36)
団体職員
立川市在住 / フアン歴:20年

<http://www.nekomachi-club.com/>



大黒佑介 (29)
食品メーカー勤務
茨城県鹿嶋市在住 / フアン歴:10年

男性の皆さん、 いろんな女性と交際すべし

僕 は一人の青年の初恋敗れたしという感想だけに終わらせたくない。「痴君一人を知って甘んずるのは、進んで自己の発達を不完全にするようなもの」。恋はたくさんでも、愛する女性は一人。We can do it!



【三四郎】
夏目漱石 著
新潮社

BEST 1

恋する人と一緒に 読んだところ

「先生と遺書」の章を学校の授業で読んだ方は多いはず。教室でみんな一緒に読んでいるのに、自分だけこっそり「先生」に「罪」を告白された気分。隣の席にはあなただけの恋する女性。これ以上、恋愛を感じる小説はないです。

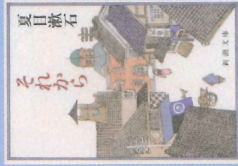


【こころ】
夏目漱石 著
新潮社

BEST 2

恋の基本は三角関係である

社 会的自立と恋愛の葛藤を書いた「三四郎」の続編的作品。本質的には恋愛とは三角関係である。三角関係こそが恋愛であるといってもよい。そして覚悟を決めないのはいつも男で、男に決断を強いるのはいつも女である。



【それから】
夏目漱石 著
新潮社

BEST 3

義姉と過ごす濃密な一晩

周 囲の様々な恋愛の在り方を傍観して日々を過ごす二郎は、兄から夢の衝撃を試してほしいと相談される。暴風雨吹きすさぶ暗闇の中、一晩二人で過ごすことになった二郎と義姉のやりとりには、濃密な時間が流れています。

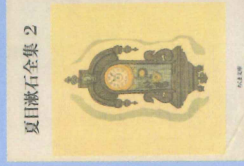


【行舟】
夏目漱石 著
新潮社

BEST 4

男2人、女1人の妖しい時間

同 じ部屋に男2人と女1人。3人は話している。そして寝る。それだけのお話。何も事件は起こりません。しかし、読むと不思議と妖しい気分になってきます。漱石が数多く描いた三角関係の作品の中でも、異色の短編。



【一頁】(夏目漱石全集 2) 四巻
夏目漱石 著
新潮社

BEST 5

賢治祭参加メンバー3人が選ぶ! 宮沢賢治の恋愛作品 BEST5



イガタイ (54)
中学校教員
川崎市在住 / フアン歴:30年



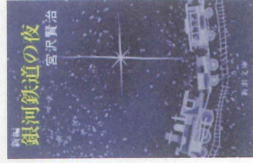
あゆみ (22)
販売員
宮城県仙台市在住 / フアン歴:10年



まゆみ (33)
デザイナー
横浜市在住 / フアン歴:10年

話さないでもわかり合える

恋 愛関係ではなく友情がテーマです。ジョハンとカンパネラ、互いの心は深く結びついています。簡単な会話ではなく、奥深いところで心と心が結びついていることを感じあっています。相手のことを思い合うことが愛だと感じられます。

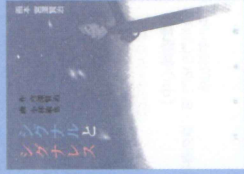


【銀河鉄道之夜】
宮沢賢治 著
新潮社

BEST 1

互いを賞賛しあう言葉

互 いを尊敬と敬愛の言葉でたたえます。これ以上無いというような、恥ずかしくなってしまうような褒め言葉をお互いに言い合える愛が、今は存在するでしょうか? でも誰もが、本当はそういう愛を望んでいるのかもしれない。



【シナガルとシグナレス】
宮沢賢治 著 / 小林龍也 絵
ハル川舎

BEST 2

本当の幸せとは何か?

士 神は汚いなりですが、仮にも神ですからとても素晴らしい心を持っています。きつねはかしく上品ですが、所詮は動物ですから、力もなく小神にはかないません。そんな二人が、美しい樺の木を好きになってしまっんです。この話の結末は悲しいです。



【土神と狐】
宮沢賢治 著 / 小林龍也 絵
ハル川舎

BEST 3

切ないまでに思う愛

今 にも命を失ってしまう妹「とし」を目の前にして思う。賢治の切ない胸の内が伝わってくる詩です。大切な人の死を乗り越えようとする。もがき苦しむ心を持ちが伝わってくる詩です。切ないけれど考えさせられます。

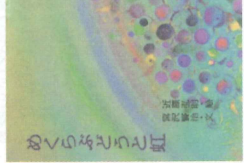


【雨の日】
宮沢賢治 著 / 北川洋比呂 編
岩崎書店

BEST 4

互いに惹かれるところ

め くらぶらぶらぶらと虹は虹の美しさに憧れ、虹に恋こがれてしまいます。でも虹ははかなく消えてしまうのです。虹はめくらぶらぶらぶらに言います。「貴方は永遠に美しく小さくとも存在することができます」。たぶん恋愛の本質にある気持ちなのかも知れません。



【めくらぶらぶらと虹】
宮沢賢治 著 / 近藤弘明 絵
福地書店

BEST 5